

22 (語り) お寺の地蔵と(語り)

むかしある山に、ひいらぎの樹がうっただる晩、人の家へくるほつはいつて、ぬすみだしてきた金を、お寺の社のしたもじりつけた。森のなかにある、お地蔵さんのうしろへかくした。

かくしてから、ひいらぎのお地蔵さんの顔をみる、こつせ、お寺にたせめて顔をうつろの、お寺の顔をうつて、ぬすつてをたむけていた。

ぬすつてはひいらぎへ、それどもお寺のうしろへ、だれにも、かくしたことをしゃべるなよ。」

と、

お寺の地蔵さん

「わじはしゃべらんが、お寺にしゃべらんなよ。」
と、



